

議 事 録

件 名	SC再認証事前指導講評 第15回久留米市セーフコミュニティ推進協議会
日 時	平成29年10月24日(火) 16:00~17:00
場 所	久留米シティプラザ5階 大会議室
審 査 員 等	ハク・ナム、ミガン・ブラザートン、白石 陽子 (JISC)、今井 久人 (JISC)
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	別紙のとおり
傍 聴 者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 審査員講評</li> <li>3. 質疑応答</li> <li>4. 閉会</li> </ol>
質 疑 ハク審査員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずお礼を言いたい</li> <li>・2日間のためにたくさんの労力と時間をかけていろいろ準備していただき、私達が適切なアドバイスできるようにしてもらったことに感謝する。</li> <li>・まず最初に伝えたいのは、一步一步進んでいることをみなさんの報告を通し、実感できた。非常にうれしく思う。</li> <li>・それに対し、今からコメントしたり、質問させていただく。これは審査ではないので、審査においてどう風に取り組みをよくしていくか、準備をできるかということが主な目的と理解している。世界中どこの自治体を見ても何もいうことはないというところはない。事故やケガがゼロにならない限りは何かすることがあると考える。</li> <li>・SCの取り組みだけではないが、取り組みをうまく進めていくには、次の4つのバランスが必要といわれている。</li> <li>・1つが政策、2つが環境、3つがコミュニティアクション、4つ目が個人のスキル。</li> <li>・私の個人的な見解を元に、久留米市は4つの中でとりわけ3つ目のコミュニティアクションと個人のスキルにたけていると感じる。</li> <li>・まず最初に取り組みを進めるときには、何が問題点かとデータ分析する。</li> <li>・そこであきらかになった取り組みについて、それを解決するためにがんばっている。</li> <li>・しかし今回データ分析でてきた問題点と、取り組みがどう関係があるのかわからない部分もあった。</li> <li>・取り組みをやりたいからやっているのかと思う部分もあった。</li> <li>・例えば、外的要因で死亡の順位がでてきた時に溺死・窒息が多かった。しかし、取り組みとして紹介がなかったので、なぜしないのか気になった。</li> </ul>

## 議 事 録

- ・単純に言えば、ランキングの高いものから取り組むというところから見ていくと、どのケガの数を減らしていくのかと考えていくときに、本番に向けて説明できるといいと感じた。
- ・だからといって数字ばかり見なければならぬわけではない。そこだけ勘違いしないでいただきたい。データ分析したときに、客観的な側面、主観的な側面が日常生活を送る上であると思う。そこも重要な視点であるので、両方をみて何が問題になっているか見つけていくことが大切。
- ・やりたいからやっていると思われぬことが重要。
- ・対策委員会ではなく、市が行っており、カバーできているならその説明があれば良い。
- ・もう一度、あと一年あるので、本番までに対策委員会の中で話あってほしい。対策委員会の連携もできているので、強みをつかって対策委員会同士の意見交換があるといい。
- ・言葉の定義をもう一度確認してほしい。
- ・安全は日本語ではひとつだが、Security と Safety の2つがある。今はどちらのほうの説明をしてあるかわかりにくい。2つの区別をしっかりとしてほしい。
- ・Safety は人間の体に危害が加えられる
- ・Security は治安
- ・Safety のところが、クリアに見えなかった。
- ・本番に向けてその両方が見えるようになればさらによいと思う。
- ・今回久留米市の紹介でわかりやすかったのが、国・県・市・対策委員会の一覧があるのがわかりやすかった。どこでもやっていることに加えて、久留米市はセーフコミュニティをやっているので、ここが手厚いという部分が見えたのがよかった。
- ・ただ、本番に向けて、国がやっていることではなく、久留米に置き換えて説明されるとよりわかりやすい。
- ・久留米市のレベルは高く進められていると感じるが、それを前提で言わせていただくと、なぜなら2回目の認証のほうがむずかしく、審査員の期待も高い。いろいろいったがケチをつけられたと感じるのではなく、前向きなメッセージだと受け止めてほしい。

ブラザートン  
審査員

- ・皆さん2日間お疲れ様でした。非常に有意義な時間をありがとうございます。
- ・どの自治体も100%ということはない。
- ・まず最初に、推進協議会に61団体が名を連ねているのはすばらしい。
- ・新鮮な視点を持っていただき、こんな人々も関わってもらえるんじゃないかという視点を忘れないでほしい。
- ・あまりいままで付き合いのない新しい出会いも新しい成果をもたらしてくれるんじゃないか。
- ・これから本番の申請書を書くときに、アドバイスだが、これだけたくさんの方が関わっているのだから、その人々のリストを作ってほしい。
- ・そのとき、消防や警察は何をしているか世界的にも分かるが、市民グループやNPOは名前だけ載せていてもわからないので、活動内容も載せてほしい。そうすれば久留米市の多様性がうまく審査員に伝わる。
- ・これからの取組みについて今のまま続けてもらうのも大切であるが、パク先生と同じになるが、溺れている方も多いので、その内容は一度検討していただきたい。
- ・数字の数ではでてこないが、この近年急激に悪化している事象などあれば、数に感わされずに、数は少ないが、重要な課題ですと取り上げてほしい。この一年そういう事象にも目を向けてほしい。
- ・SCのひとつのキーとしては、いかに体への危害を減らすかということがある。数ではないが、重症化しやすい取組み。例えば高齢者の事故など。
- ・良い方向性として感じたのは、対策委員会が安全・安心マップを現在統合しているところ。  
今後はマップがどのように使われているかも多面的に検証していかなければならない。
- ・思いのほうに引っ張られていないかこれからも考えていかなければならない。
- ・事例でいうと、オーストラリアでは何が一番怖いですかというとテロという。しかしDVでなくなっている人のほうが数十倍多い。そうするとDVの対策をせず、テロ対策しますかという話になる。マスコミに煽られたりする。
- ・もうひとつのポイントだが、学校に通う若い世代の人々の活躍も視野に入れてほしい。
- ・SCの取組みに関わってもらようよう関係性を構築してほしい。(対策委員会に参加してもらおう等。)
- ・若い世代の活躍、新しい展開を期待している。
- ・データ等を見ながら、なぜこの取組みをしているのか、なぜこのケガがおきているのか  
『なぜ』を大切にしてほしい。

- ・SCは楽しくやらなくては、続けることは難しい。そういった意味では久留米の皆さんは素晴らしい取り組みをしていると感じた。この2日間で久留米市に可能性を感じた。
- ・例えば安全マップがあったが、これから観光客をどう巻き込めるか。いろんな可能性がでてくるのではないかと感じた。
- ・その事例が午後に見せてもらった心のカフェ。どうしたら企業も取り組めるのか。発想の転換。
- ・どういう方々が、どのような年齢層の方とつながっているか。新しい展開を考えるきっかけになる。
- ・地域の中にキーパーソンがいると思う。ぜひ捕まえてほしい。
- ・来年の再認証にできるだけ活用していただきたい。
- ・どうしたら、審査員に（久留米にきたことがないかもしれない）わかってもらえるかを考えてほしい。
- ・パワポを事前に審査員に送っておくといいかも。もっと効率的に。
- ・どれだけコミュニケーションができるか。双方向のやりとりの時間がほしい。
- ・私が審査員で来る場合はぜひ地域の人々の生の声をききたい。
- ・子ども達や、高齢者や対策委員会の人々の声が聞けると、数字だけでなくもっと生きた成果に感じることができると思う。

【ブラザーTON審査員より他自治体の感想をききたいとリクエスト】

<横浜市栄区>

○暴力の分科会がそれぞれ連携をとっているところが、私達も参考にしたいと感じた。

○対象像を明確にすること、ポピュレーション群、ハイリスク群をもう少し明確にしたアプローチをすることという意見が参考になった。

<大阪 松原市>

○大変参考になるプレゼンをたくさんみせてもらった。

○認証後の取り組みをきちんと見直しされて、ほかの対策委員会と連携をしながらすすめられている点を参考にしていきたい。

<鹿児島市>

○個人的な意見だが4月からSCに取り組んでいる。とても励みになった。自身自身の気付きにもなった。

第15回久留米市セーフコミュニティ推進協議会（事前指導） 委員出欠（敬称略・順不同）

No.	団体名	役職	氏名	10/24出欠
1	一般社団法人久留米市交通安全協会	理事長	平岡 常男	○
2	浮羽地区交通安全協会	会長	石井 勝則	○
3	小郡三井地区交通安全協会	会長	光安 勝憲	×
4	城島三瀬交通安全協会	会長	小川 勝	×
5	久留米安全運転管理連絡協議会	会長	永淵 俊毅	×
6	久留米商工会議所	会頭	本村 康人	代理：宮本則昭事務局長
7	久留米南部商工会	会長	野口 定敏	○
8	久留米東部商工会	女性部副部長	古賀 幹子	×
9	田主丸町商工会	女性部部長	小林 整子	×
10	久留米市農業協同組合	理事	緒方 友子	○
11	にじ農業協同組合	理事	馬渡 恵美子	×
12	みい農業協同組合	理事	猪口 峯子	×
13	三瀬町農業協同組合	女性部部長	田中 ヤク子	○
14	福岡大城農業協同組合	理事	市川 範子	×
15	公益財団法人久留米市体育協会	常務理事	伊藤 正博	○
16	久留米市私立幼稚園協会(永福寺幼稚園)	園長	山村 由比	○
17	一般社団法人久留米市保育協会	事務局担当理事	森山 元喜	○
18	久留米市小学校校長会(草野小学校)	校長	松尾 治利	×
19	久留米市中学校校長会(宮ノ陣中学校)	校長	佐野 淳	×
20	久留米市小・中学校PTA連合協議会(北野中)	家庭教育委員	相良 喜代美	○
21	久留米市学童保育所連合会	事務局主任	澁田 由見子	○
22	久留米市青少年育成市民会議	事務局長	吉住 英男	○
23	久留米保護区保護司会	副会長	薄 昭宣	○
24	久留米市老人クラブ連合会	女性部副部長	鶴長 サユミ	○
25	特定非営利活動法人くるめ地域支援センター	代表	物部 加奈代	×
26	久留米市身体障害者福祉協会	理事	永野 清	○
27	特定非営利活動法人久留米市障害支援運営委員会	理事	古賀 勝子	○
28	久留米市女性の会連絡協議会	会長	池田 博子	○
29	久留米市田主丸町地域婦人会連絡協議会	会長	横溝 敏子	○
30	久留米市北野女性の会	理事	溝上 ゆり子	○
31	城島女性ネットワーク	幹事	石川 園恵	×
32	三瀬校区女性の会	会長	立石 米子	○
33	久留米男女共同参画推進ネットワーク	会員	榎尾 和枝	○
34	久留米市民生委員児童委員協議会	副会長	山田 三男	○
35	社会福祉法人久留米市社会福祉協議会	会長	川地 東洋男	×
36	久留米市地区社会福祉協議会連合会	会長	岡 リツ子	×
37	一般社団法人久留米医師会	会長	北里 誠也	○
38	一般社団法人浮羽医師会	会長	宮崎 正樹	×
39	一般社団法人小郡三井医師会	理事	田中 泰之	×
40	一般社法人大川三瀬医師会	理事	石橋 裕二	×
41	公益財団法人生きがい健康づくり財団	常務理事	八尋 幹夫	○
42	久留米大学(公衆衛生学)	教授	石原 陽子	○
43	聖マリア学院大学	教授	日高 艶子	○
44	久留米市ボランティア連絡協議会	副会長	田中 正敏	○
45	久留米市校区まちづくり連絡協議会	会長	古賀 秀心	○
46	田主丸地域 水縄校区まちづくり振興会	会長	刈茅 重信	○
47	北野地域 大城校区まちづくり振興会	会長	有川 修二	○
48	城島地域 青木校区まちづくり振興会	会長	堀 正文	○
49	三瀬地域 三瀬校区まちづくり振興会	会長	稲田 善嗣	×
50	久留米市防犯協会連合会	副会長	富澤 章	×
51	うきは防犯協会田主丸支部	支部長	北川 繁行	○
52	久留米市校区暴力追放推進協議会連絡会議	副会長	渡辺 徹也	○
53	特定非営利活動法人日本防災士会久留米支部	事務局長	田島 スマ子	○
54	久留米警察署	署長	西田 英徳	○
55	うきは警察署	署長	南谷 聡	×
56	久留米広域消防本部	消防長	井上 秀敏	○
57	久留米市消防団	団長	水田 信行	×
58	久留米労働基準監督署	第2方面主任	安部 勝彦	○
59	久留米児童相談所	所長	青木 幸子	×
60	久留米市	市長	檜原 利則	○
61		副市長	橋本 政孝	○
62		副市長	森 望	○
63		教育長	大津 秀明	×

63名中40名出席(うち代理1名)、欠席23名